

県下の交通事故 (3月31日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
年別			
平成2年	1,074件	26人	1,397人
3年	1,207件	23人	1,610人
比較	+12.4%	-11.5%	+15.2%



◇ 第91号 ◇

発行所  
〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
県民会館2階  
財団法人 山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552) 32-4682  
(0552) 37-7827

# 春の全国交通安全運動

## 5月11日～5月20日

### 甲斐路に さわやか交通の実現を

平成三年春の交通安全運動は、五月十一日から二十日まで十日間全国一斉に実施されます。この運動は、毎年四月の新学期に合わせて行われていたが、本年は、四月に統一地方選挙が行われることから一ヶ月遅らせて実施することになりました。本県では、交通安全対策本部で決定した四つの重点目標をたてて運動を展開することになりました。本年は前年に比べて交通事故が増加の傾向にあり、これに歯止めをかけるため県民総ぐるみの運動を推進しましょう。

### 子供と高齢者を 交通事故から守ろう

この運動は、県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われます。

県交通安全対策本部がきめた主な運動の進め方は次のとおりです。

- ▽子供と高齢者の交通事故防止
- ▽子供、特に新入学(園)児及び高齢者に対する交通安全教育・指導の徹底
- ▽自転車の正しい乗り方の指導徹底と点検・整備の励行
- ▽街頭における啓発・指導・保護活動の強化
- ▽反射シール等夜間における交通安全用具の普及
- ▽活用促進
- ▽通学(園)路を中心とした安全な交通環境の確保
- ▽幼児・高齢者交通安全クラブ及び交通安全少年団・少年交通安全リーダー等の指導育成
- ▽若年運転者の追放
- ▽若年運転者の特性に応じた交通安全教育・指導の強化
- ▽車線の順守と適正な車間距離の保持の励行
- ▽夜間における安全運転の確保
- ▽「無車検・不法改造」車両及び「無保険」車両の追放



我が国におけるモータリゼーションの進展は、昭和三十九年当時から人口八〇七・四四万人(全国八二七五・五二九万人)と、車両保有数二七五・〇〇〇万台(全国一九七万台)、免許保有数二二〇・〇〇〇人(全国一七三・八八〇人)であったのが、平成二年末では、人口八五二・九八〇人(全国二二一・三六一・五四一万人)、車両保有数五四一・四五万台、免許保有数四四一・四四万台(全国三三〇・七五〇万台)と、急激な伸びを示し、本県は、車両保有数二万台、免許保有数二万台、大量交通時代、国民(県民)皆免許時代を迎えている。

昨年の交通事故発生状況は、全国では、発生件数六四三・〇九七件、死者一一二

### その場その場での教育

県警運転免許課長

野本 大八

子供の高さに合わせて、その場にしゃがみこんで、信号機の説明をしていた。子供は、青になった瞬間、子供は勝手に一人、横断し始めた。お父さんは、呼び戻して、子供を確認させてから、手をつないで渡った。何気ない光景だが、私は、ほのぼのとしたものを感じ

が悪い。夜間で週末の発生が多い。若者による無謀な運転(最高速度、酒よ、信号無視)が多い。ことがあげられる。交通安全対策、安全教育と叫ばれて久しいが、これらの数は、特徴を見る限り、まだまだ県民の末端まで、



て嬉しかった。五歳の男の子が、遊びの帰り、車にはねられて亡くなった。お母さんは、「保育園へ車で、送り迎えは、一日曜日の朝、広い信号交差点で、四歳ぐらいの男の子と若いお父さんが、歩行者信号機の青に変わるのを待っていた。お父さんは、

その場、その場の状況に応じて、的確に行動できるように教えることが大切ではないだろうか。子供を事故から守るためには、いつも一緒に道を歩いて渡り方などを教えてあげれば……と残念がって涙ぐむ。この二つの例は、私たちに考えさせるものがある。

この文章こそ、まさに、「具体的なその場、その場での教育」が、いかに重要であるかといっているのだから、ドライバーとして、歩行者として、安全に行動するには、信号機の設置、道路の整備、違法駐車等の排除などの交通行政、さらには、規制、取締りの一層の推進をはかることはもとより、警察、安全協会を中心とする交通安全運動、安全教育、運転資格喪失です。交通の場で、巻き添えに泣く人を、つらくぬよう、とくに運転者の最小限のマナーを願ってやみません。

### 交通安全スローガン

【歩行者、自転車利用者向け】

車社会 歩くあなたも その一人

- ▽違法駐車しない、させないの励行
- ▽危険性・迷惑性の高い違法駐車等の指導取締りの強化
- ▽その他の推進事項
- ▽安全確認の徹底
- ▽高速道路における安全運転の確保
- ▽大型車両等の違法通行の防止
- ▽交通事故多発地点の調査・改善等道路交通環境の点検・整備の促進
- ▽「マイカー相乗り」「ノーマイカー運動」の推進
- ▽職場・地域・学校における交通安全教育の推進
- ▽交通安全一市町村一運動による着用運動の推進
- ▽効果的な広報・啓発活動の展開

### 必ず着けようシートベルト



シートベルト着用効果  
衝突の際の衝撃軽減  
車外放出の防止  
正しい運転姿勢の保持  
運転疲労の軽減

### 交差点

「巻き添えを食う」いやな、ひびきの言葉ですが、かつて、本県の中央自動車道で、新婚さん夫婦の乗用車に、わき見運転の普通乗用車に、追突され、乗用車は炎上、夫婦は焼死という事故がありました。他県でも、やはり高速道で、幼児も含めて一家五人が楽しいドライブ中の乗用車が後方から猛スピードで疾走してきた大型トラックが激突、これも乗用車が炎上、一族全員が焼死という、地獄図さながらの何とも痛ましい事故がありました。これも、一瞬の前方不注意が原因で起ったことなんです。交通事故ではありませんが、新聞によりますと、湾岸戦争停戦八日前に、サウジアラビアの米軍兵舎に、イラクのミサイルがうち当たって、海水浄化特殊勤務の若い女性兵士(下士官)二名が死亡、うち一人は、婚約中だったとか、まさに戦争なかりせばと、戦争の巻き添えを、悔やんでも悔やみきれない事件が報じられていました。これらの事例を見、聞きするたび、いっつも「巻き添えを食う」この嫌な言葉が脳裏をよぎる、何とも言い知れぬ、同情とそして、ぶち当たってしまう怒りを覚えるのです。辞典によれば、「巻き添えを食う」とは「他人のことで損害をこうむること」とあります。被害者側には、何等責任のない事故、一般に、追突事故などはその典型的なものです。事故統計によっても、全交通事故の約三分の一は、前方不注意、一般にいいうき見なのです。物体には動きがあるとき、また、停まっているときは、その状態を続けようとする慣性があります。動く車は、コントロールするのは人です。その人にコントロールの機能がはたらかなければ、衝突、転落という結果になるのは当然です。まして運転中の前方不注意、これは運転資格喪失です。交通の場で、巻き添えに泣く人を、つらくぬよう、とくに運転者の最小限のマナーを願ってやみません。



# 第31回交通安全国民運動中央大会

## 事故増勢に歯止め 生命の尊さと事態の深い認識を

全日本交通安全協会、都道府県交通安全協会主催、安全国民運動中央大会本会、総務府、警察庁など関係省



### 常陸宮殿下お言葉

交通事故は、昭和四十五年ピークを記録して以来、国を挙げての努力により、毎年減少してきていますが、数年前から再び増加し、その死者は昨年一万人を超えました。この時に当たり、第三十一回交通安全国民運動中央大会が開催され、全国各地で安全運動に尽力されている皆さんが一堂に集まり、豊富な知識と経験を交流して、効果的な方針を協議されたいことは、まことに意義深いことと思っております。ことに本日、受賞された方々をはじめ、関係者の地道な努力に対し、深く謝意を表します。関係者の交通安全努力は、何の予告もなく発生し、一瞬のうちに家庭の幸福を奪い、職場に大きな損害をもたらす悲惨なものであります。とくに最近、若者の暴走事故が目立ち、高齢者の被害が増加していることは、たいへん残念に思います。事故に遭われた方々は誠に気の毒であり、心からご同情申し上げます。昨年、わが国で初めて交通安全世界会議が開かれ、世界中の人々の交通安全への願いを強く感じられたことと思います。ここに改めて生命の尊さを心に刻み、運転者も歩行者も、お年寄から子どもまで、ひとりひとり、互いにおもひやり、助け合う気持ちを強め、協力して幅広い交通安全運動をねばり強く推進するよう望んでやみません。

日比谷公会堂で、常陸宮、同妃西御殿の御臨席を仰ぎ、内閣総理大臣代理をはじめ多くの来賓をお迎えし、全国の交通安全運動を推進している人たちが約二千人が参加して盛大に開催されました。

本会議は、川上宏之氏(元NHKアナウンサー)の司会で開かれ、国家斉唱、交通安全推進者に対する黙祷のあと主催者を代表して会長あいさつ(国島文彦全日本交通安全協会副会長が代読)があり、前日の分科会等で討議された交通安全国民運動推進方策について各部会議員から報告されました。次いで、これら交通安全国民運動推進方策について総務府長官の授与と、交通安全「我が家の交通安全」最優秀入選者に対する総務府長官の授与が行われました。このあと表彰式に移り、交

### 宣言

交通事故は、昨年も増勢が衰えず、死者数は三年連続して一万人を上回った。ここに、第三十一回交通安全国民運動中央大会を開催するに当たり、生命の尊さと事態の重大性を改めて深く認識し、交通事故の増勢に歯止めをかけ、より安全で秩序正しい交通社会を確立するため、関係機関、団体をはじめ交通社会に参加するすべての人々と協力し、全国の職場、学校、家庭等において、次の諸対策を強力に推進することを誓う。

- 一、歩行者、自転車、とくに高齢者と子ども、交通事故防止活動の徹底
- 二、運転者、とくに若年運転者に対する交通安全教育の充実
- 三、シートベルト、ヘルメットの正しい着用
- 四、週末、夜間における交通事故防止対策の推進
- 五、道路使用の適正化、とくに違法駐車対策の強化

右宣言する。  
平成三年一月十八日  
第三十一回交通安全国民運動中央大会

通栄章・緑十字章・同銀章の授与、交通安全年間スローガン最優秀入選者に対する総務府長官の授与、交通安全全文「我が家の交通安全」最優秀入選者に対する総務府長官の授与が行われました。このあと表彰式に移り、交

### 栄誉章に輝く人びと

中山文雄氏  
中山さんは、昭和三十年から三十五年余の永きに亘り、甲府安協役員、甲府安協会長、山梨県安協副会長等を経て、傘下事業所の交通安全意識の高揚に努め、交通安全の推進に多大の功労が認められ、県下交通安全功労者として



勝俣 隆氏



中山文雄氏



小笠原良一氏



鶴田美枝氏



横内正雄氏



佐藤謙一氏

十四人目の金章を受けられました。勝俣さんは、昭和二十八年から三十七年余の永き期間、運転一筋に歩み、この間、無事故、無違反の安全運転に徹し、他の模範と認められ、今回、県下で優良運転者として、十三人目

の金章を受けられました。鶴田さんは、交通安全母の会の地区、県、全国の役員を十九年の永きに亘り歴任され、母親の立場から交通安全推進のため献身的に尽力し、また人柄、識見共に優れた模範であり、その功績顕著と認められ、今回の受賞となりました。小笠原良一氏  
小笠原さんは、昭和二十七年以来、三十八年余の永きに亘り、地域の交通安全

活動を積極的に推進し、交通事故防止に多大の貢献をなされ、また石和安協会長として、会の育成に尽力し、交通安全の推進に努められた功績が認められ、今回の受賞となりました。佐藤謙一氏  
佐藤さんは、三十年余の永きにわたって、運転一筋に歩み、この間、昭和四十二年間、大月自動車学校の指導員(現在、同校校長)として、安全運転の指導にあたり、自らも無事故、無違反運転に徹し、他の模範であることから今回の受賞となりました。横内正雄氏  
横内さんは、二十七年余の間、一貫して職業運転手としてハンドルを握り、この間、約二十年間はタクシーの運転に従事し、無事故、無違反運転に徹し、他の模範と認められ、今回の受賞となりました。

とおりです。  
【緑十字章】  
交通安全功労者  
甲府安協協会長  
中山文雄  
優良運転者  
大月信用金庫 勝俣 隆  
【緑十字章】  
交通安全功労者  
県交通安全母の会連合会 会長 鶴田美枝  
石和安協会長 小笠原良一  
優良運転者  
大月自動車学校 佐藤謙一  
山梨中銀市川支店 横内正雄  
【全日交会長表彰】  
交通安全優良団体  
山梨県高速道路交通安全協議会  
交通安全優秀事業所  
富士急行株式会社  
交通安全優良学校  
中富町立 曙小学校  
優良交通安全協会  
都留交通安全協会  
優良交通安全管理者協議会  
日下部安全運転管理者協議会

## 子供は赤信号 新入学児童・園児を 交通事故から守る運動 4月1日~10日



～交通ルール 頭でおぼえるより 身につけよう～

本年は、春の全国交通安全運動が例年より一ヶ月遅れて実施されるので、今回は特に新入学(園)期に当たり、親の手を離れて通学(園)する子どもを最重要として、四月一日から十日までの十日間、事故防止運動を強力に推進することにしました。県交通安全対策本部がきめた主な運動の進め方は次のとおりです。

新入学児童・園児に対する交通安全教育の推進

- 地域や学校(園)において新入学児童・園児を対象とした交通安全教室を開催し、道路を歩くときや横断するときの注意事項等について教育・指導を徹底する。
- 交通安全教材等を配布して親子で学ぶ交通安全活動を推進する。
- 家庭訪問活動等により、家庭における交通安全思想の普及徹底を図る。
- 幼児交通安全クラブの指導・育成につとめる。
- 街頭指導及び通学(園)路等の点検整備の推進
- 通学(園)路において、新入学児童・園児の正しい歩行、安全な道路横断について実地指導を行うとともに、保護・誘導活動を推進する。
- 児童・園児の安全を確保するため、通学(園)路の点検を行い、道路交通環境の整備を図る。
- 子供の遊び場等の点検・整備を推進する。

新入学児童・園児を交通事故から守る県民意識の醸成

- テレビ、ラジオ、新聞等各種広報媒体を活用し、県民意識の醸成を図るため、の広報活動を推進する。
- 運転者に対して、各種講習会、研修会等の機会を通じて、新入学児童、園児の交通安全防止について徹底を図る。
- 通学(園)路を通行する自動車を使用する事業所において、新入学児童、園児の交通安全防止に関する管理が適切に行われるよう安全運転管理者を通じて指導の徹底を図る。

黄色い腕章をおくる  
—新入学児童全員に—  
山梨県交通安全協会では、山梨県警察と協力して新入学児童全員に黄色い交通腕章八五〇〇本を贈ることにしました。これは、新入学児童がこの腕章をつけることにより、自覚と注意心をよび起こし、また、運転者や通行人の方々に、黄色い腕章の子供には特別の注意と保護をお願いしたいとの念願によるものであります。

ご理解とご協力をお願いいたします。  
なお、甲府市内の新入学児童には富士銀行甲府支店、富士吉田市内の新入学児童には安田火災海上保険(株)からそれぞれ贈られます。また、山梨中央銀行交通安全協力会(会長、頭取、樋原昌起氏)では、県下の新入学児童に「交通安全標識入り下敷」一万枚を贈呈(今回で20回目)しましたこともし添え、心から感謝の意を表したいと思います。



# 平成二年度中の交通事故

**全国の交通事故**  
 警察庁がまとめた平成二年度中の交通事故は、発生件数(概数)六十四万二千四百六十六件(前年対比二万八千九百四十七件、二・九%減)、死者数一万一千二百二十七人(同百四十一人、一・三%増)、負傷者数(概数)七十八万八千七百二十八人(同二万六千四百八十八人、同二・二%増)となつてい

# 交通死者 9年連続100人を超える

## —若者と高齢者で過半数—

三・二%減)となつていす。特に死者数については、三年連続して一万人を突破しました。

都道府県別の死者数は、北海道、大阪府、愛知県、千葉県等が多く、前年に比べ増加率の高いのは、宮崎県、岩手県、岡山県等であり、神奈川県、愛媛県等であり

### 死亡事故の特徴

増加した県は、本県を含めて二一、四府県となつています。

平成二年度中の交通事故死者の主な特徴は、

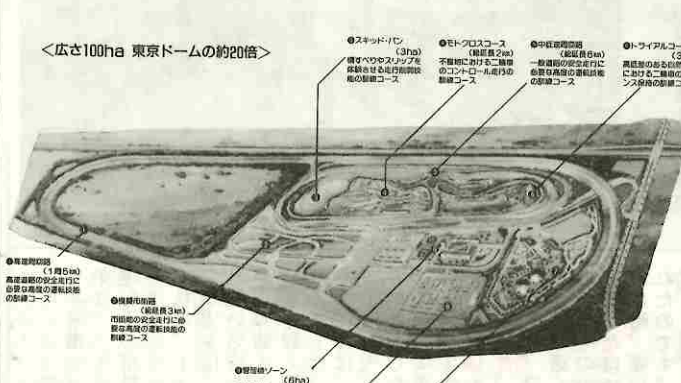
- (1)若者(十六〜二十四歳)の高齢者(六十五歳以上)の死者数が過半数を占めていること。
- (2)自動車乗車中の死者数が増加したこと。
- (3)シートベルト非着用死者が大幅に増加したこと。
- (4)原付自転車乗車中および歩行中の死者数が増加したこと。
- (5)夜間と週末の死者数が多いこと。

### 本県の交通事故

県内の交通事故は、発生五千四百七十七件、死者百九十九人、傷者六千七百七十九人で、前年に比べて、発生件数は二百五十七人、四・八%減、死者は二人、一・七%増、傷者は三百七十九人、五・三%減となつております。

交通死亡事故は、発生百十五件、死者百十九人で、昭和五十七年以降九年連続して百人を突破しています。人口十万人あたりの死者数は、全国平均九・一人に對し、本県は十四・〇二人であり、ワースト四位の残念な結果になつています。

シートベルトの着用状況をみると、死者中の着用義務者五十六人中、着用者は九人で着用率一六・七%と極めて低く、着用していたならば二十七人は助かったと思われま



＜広さ100ha 東京ドームの約20倍＞

●スタートライン (30m) 安全運転のスタートライン

●ストップライン (30m) 安全運転のストップライン

●急ブレーキライン (30m) 安全運転の急ブレーキライン

●急ハンドルライン (30m) 安全運転の急ハンドルライン

●急加速ライン (30m) 安全運転の急加速ライン

●急減速ライン (30m) 安全運転の急減速ライン

●急旋回ライン (30m) 安全運転の急旋回ライン

●急停車ライン (30m) 安全運転の急停車ライン

●急回避ライン (30m) 安全運転の急回避ライン

●急追突ライン (30m) 安全運転の急追突ライン

●急追突回避ライン (30m) 安全運転の急追突回避ライン

●急追突回避ライン (30m) 安全運転の急追突回避ライン

●急追突回避ライン (30m) 安全運転の急追突回避ライン

## 安全運転 中央研修所

# 運転者教育の中核に 勝田市に5月オープン

特殊法人、自動車安全運転センターでは、交通安全に関する時代の要請にこたへ、地域、職域等における交通安全教育の中核的指導者として、高度な運転技能・知識を有する資質の高い運転者及び運転指導者を養成する目的として、交通安全教育の向上を図ることを目的として、実践的かつ専門的な安全運転知識・技能を習得するための総合的研修施設「安全運転中央研修所」を、茨城県勝田市に建設中でしたが本年5月オープンすることにな

りました。この研修所は我が国の運転者教育の中核としての役割を持つもので、世界的にもトップレベルの安全運転研修施設です。

生涯の安全のため、運転技能を向上させるため、一人でも多くの方の入所をお奨めします。

なおこの研修所は次のような特徴があります。

- 一 実際の道路を再現した訓練コース
- 二 5kmの高速周回路、雪道、凍結路を想定したスキッド・パン、模擬市街路、トライアルコース、モトクロスコース、二一流の講師陣による研修
- 三 専門的な運転技能教育、理論教育の経験と有する技能担当教官、理論担当教官、一流の客員講師による実践的研修
- 四 安全運転の基本と応用の総合的研修
- 五 公道では試すことのない危険限界の体験と回避訓練、ゼミナールやシミュレーションによる研修など、実技と理論との総合的研修
- 六 完備した宿泊施設(洋室(個室)一八〇室)

昨年中の県内の死亡事故の特徴は次のとおりです。

幹線道路で多発、全県の二六・一%が国道二十号と五十二号で発生。

金曜から週末が多い。全体の五六・五%発生。

カーブでの事故率が高く全体の二六・一%を占めていること。

二十九歳以下の若者が過半数、全死者の五三%を占めていること。

深夜は十四・七件に一件の割合で発生。

人対車と単独事故の構成率が高いこと。

違反別では、最高速度違反三二・二%、酒酔い運転二二・二%と大部分が無謀運転となつてい

第二次交通戦争ともいわれる現下の厳しい交通情勢を踏まえ、人命尊重の基本理念のもと、安全で快適な交通社会を実現するために、各種の交通安全運動の実施を通じ、県民一人ひとりの交通安全思想を高め、交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることが大切です。

県交通安全対策本部と交通対策推進協議会は、交通安全防止のための効果的な運動を推進するため、平成三年度の交通安全運動基本要綱を定め運動を実施することとしましたが、その主な内容は次のとおりです。

▽交通安全スローガン

ふれあいとゆとりでつなごう

無事故の輪

交通安全は家庭と職場と地域から

▽運動の重点目標

- (1)子供と高齢者の交通事故防止
- (2)若年運転者による無謀運転の追放
- (3)シートベルト・ヘルメットの正しい着用
- (4)違法駐車等の徹底
- (5)新入児童・園児を交通事故から守る運動

4月1日〜4月10日 10日間

▽交通安全スローガン

ふれあいとゆとりでつなごう

安全対策

- (1)4月27日〜5月6日 10日間
- (2)春の全国交通安全運動 5月11日〜5月20日 10日間
- (3)夏の交通安全防止県民運動 7月21日〜8月31日 通年
- (4)交通安全1市町村1運動 4月1日〜翌3月31日 通年
- (5)交通安全1市町村1運動 4月1日〜翌3月31日 通年
- (6)秋の全国交通安全運動 9月21日〜9月30日 10日間
- (7)年末年始の交通事故防止 10日間
- (8)交通安全1市町村1運動 4月1日〜翌3月31日 通年
- (9)交通安全1市町村1運動 4月1日〜翌3月31日 通年

交通安全5則

- (1)安全速度を必ず守る
- (2)カーブの手前でスピードを落とす
- (3)交差点では必ず安全を確かめる
- (4)一時停止で横断歩行者の安全を守る
- (5)飲酒運転は絶対にしてはいけない

安全歩行5則

- (1)右側を通行し信号は必ず守る
- (2)道路へ急に飛び出さない
- (3)車のすぐ前や後ろを横切らない
- (4)すし道でも横断歩道、歩道橋を渡る
- (5)夜は目立つ服装と反射材を着用する

新規購入 映画の紹介

一、地獄への疾走

16ミリ、カラー、28分

若者二輪ライダー向けに激増している若者による二輪車事故の実態をドキュメントし、その事故状況、原因、当事者や家族に残された傷跡を描くことにより、運転者に安全運転の重要性を訴えるものです。

二、若者の交通事故

16ミリ、カラー、26分

若年運転者向

若者の心理とスピードに焦点をあて、二輪や四輪車の無謀運転の実態を徹底的に追求分析し、自己の抑制心の弱い若者に、スピードをコントロールできない者に、自分の車を操る資格はない、と強く呼びかけます。

三、交通事故に明日はない

16ミリ、カラー、27分

一般運転者向

数々の重大事故を記録

フィルムに収め、さらに交通事故による重度の身体障害者を訪ね、その恐ろしさを余すところなく描き、同時に、それらを通じて事故予防の心得を紹介しています。

四、クマちゃんの交通安全

16ミリ、カラー、13分

幼児向

悲惨な子ども達の交通事故が多い昨今、幼い子どもにも親しみやすくかわい動物のアニメーションです。子ども達の大好きなスイカのスキーが交通安全ルールを分かりやすく説明します。

五、誠くん、進んどのほ

16ミリ、カラー、21分

子どもも大好きな自転車。しかし、交通安全ルールを守らずに、自転車に乗ることは、たいへん危険です。子どもたちに、交通安全ルール、特に自転車に乗る時に注意しなければならぬことを、人気タレントの出演により、楽しく、わかりやすく解説しています。

★改装した新しい広いコースで、全車種(普通、自二、けん引、大特、二種免許)の免許取得を！ 早朝、夕方、日曜その他生活条件に合わせた教習を！

財団法人 山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島 1828  
TEL (0552) 85-0752



